

取組概要

佐伯小学校では、「学んだ言葉の力を活用しながら、自分の思いを伝えることができる子どもの育成」を目指し、達成状況・取組状況の検証・改善を短期で行う仕組みや、重点目標と研究主題を合致させ、校内研修の充実により目標達成に向かう学校体制を構築している。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆短期の検証・改善が可能な重点的取組・取組指標を設定し、教員の目標管理シートとも連動させている。
- ◆主任の働きかけにより、各教員の取組を必ず共有する仕組みをつくっている。（課題に対する多様な取組の報告、共有等）

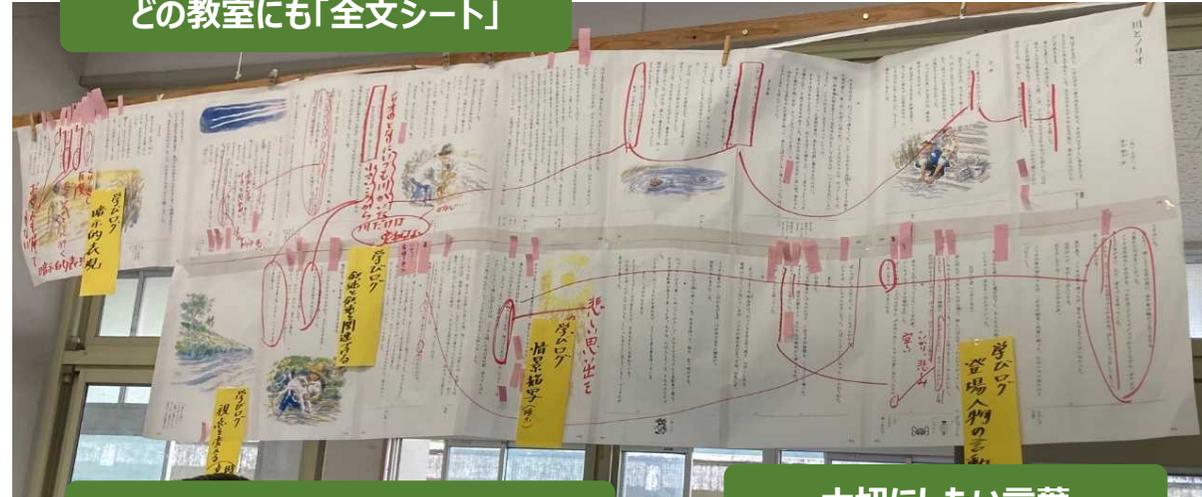
特徴的な活動

- ◆校内研修を教室で行うようにしている。取組指標に基づく取組状況の確認や共有、各教員の教室環境の工夫（掲示物や学びの足跡等）を学び合うことにつながっている。
- ◆校内研修におけるまとめ・記録を板書により蓄積している（教員持ち回りで実施）。ポイントを押さえた板書、プロットの工夫等により、授業等における板書の構造化にもつながっている。

関係者の声

- ◆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、子ども自身のめあて・振り返りを大切にする（学習の個性化）ことが意識されている。月ごとのめあてや行事のめあてなど、児童一人一人がめあてに対して振り返りを行い、次のめあての更新に生かす取組を行うことも考えられる。
- ◆授業中に座席表を用いて子どもの学習状況を把握する教員の姿があった。このような取組により、子どもの状況に応じた支援が可能になる。ぜひ校内で広げていただきたい。

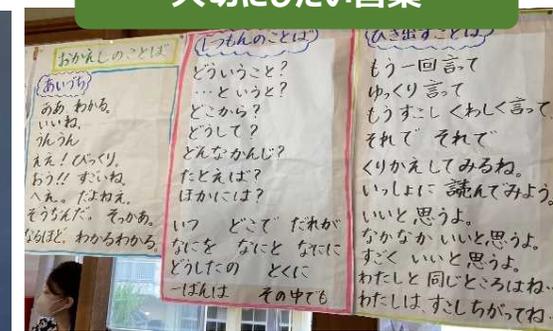
どの教室にも「全文シート」



個のめあてと振り返りをICTで確認



大切にしたい言葉



整えられた読書環境

